

2025年度 全学（基礎科目）カリキュラムマップ

1. 社会生活に必要な知識を身につけている。（知識）
2. 社会生活に必要な技術・技能を身につけている。（技能）
3. 社会における課題を、演習・体験を通して考察することができる。（思考力）
4. 自らの経験、他者の考察を振り返り、自分の考えを確立できる。（判断力）
5. 確立した考えを自分の言葉、文章で表現できる。（表現力）
6. 自分自身の生き方を認め、積極的に社会に関わろうとする力を身につけている。（主体性）
7. 関係性の中で生きる汎用的な能力・態度・共感力を身につけている。（多様性）
8. 他者の生き方に共感し、協力しながら社会を作り上げていく力を身につけている。（協働性）

	1	2	3	4	5	6	7	8
人間学Ⅰ				○	○	◎	○	
人間学Ⅱ				○	○	◎	○	
人間学Ⅲ				○	○	◎	○	
人間学Ⅳ				○	○	◎	○	
人権論					○	◎	○	
仏教の歴史と文化						○	◎	○
親鸞入門Ⅰ						○	◎	○
親鸞入門Ⅱ						○	◎	○
キャリアデザインⅠ	○		◎		○	○		
キャリアデザインⅡ	○			◎	○	○		
おおたにの学び		○	◎		○			○
日本国憲法	◎	○						
倫理学	◎	○		○				
情報処理Ⅰ	○	◎						
情報処理Ⅱ	○	◎						
華道Ⅰ	○	◎						
華道Ⅱ	○	◎						
華道Ⅲ	○	◎						
華道Ⅳ	○	◎						
英語Ⅰ	◎	○					○	
英語Ⅱ	◎	○					○	
英語Ⅲ	◎	○					○	
英語Ⅳ	◎	○					○	
韓国語Ⅰ	◎	○					○	
韓国語Ⅱ	◎	○					○	
保健体育	○	◎	○	○				
体育実技		◎				○	○	○
人間学A				○	○	◎	○	
人間学B				○	○	◎	○	

2025年度 仏教学科 カリキュラムマップ

1. 浄土真宗の基本的な聖教、および積尊、親鸞についての知識を身につけている。(知識)
2. 声明作法やソーシャルワーク(相談援助)などの学びを通して、浄土真宗の儀式や人との関わりにおける基本的な作法を身につけている。(技能)
3. 自分で聖教を読むことができ、自らの課題を発見することができる。(思考力)
4. 真宗の学びや福祉の学びを通して、地域社会の課題を自らの課題として深めていくことができる。(判断力)
5. 自らの課題を論文や発表、法話や人とのコミュニケーションを通して表現することができる。(表現力)
6. 現代社会の学びを通して、積極的に社会に関わろうとする力を身につけている。(主体性)
7. グリーフ(悲歎)や看取りなどの学びを通して、自己と他者への共感力を身につけている。(多様性)
8. 他者との協働作業を通して、共に生きる姿勢を身につけている。(協働性)

	1	2	3	4	5	6	7	8
真宗学概説 I	◎		○	○	○			
真宗学概説 II	◎		○	○	○			
教行信証概説 I	◎		○	○	○			
教行信証概説 II	◎		○	○	○			
真宗学 I	◎		○	○				
真宗学 II	◎		○	○				
真宗学 III	◎		○	○				
真宗学 IV	◎		○	○				
真宗学 V	◎		○	○				
真宗聖教講読 I	○		◎	○	○			
真宗聖教講読 II	○		◎	○	○			
真宗聖教講読 III	○		○	○	◎			
真宗聖教講読 IV	○		○	○	◎			
仏教学概説 I	◎		○	○	○			
仏教学概説 II	◎		○	○	○			
仏教基礎学	◎		○	○				
仏典講読 I	○		◎	○				
仏典講読 II	○		◎	○				
仏典講読 III	○		◎	○				
仏典講読 IV	○		◎	○				
仏典講読 V	○		◎	○				
真宗史 I	○		○	○	◎			
真宗史 II	○		○	○	◎			

	1	2	3	4	5	6	7	8
地域と仏教		○		◎		○	○	
地域と福祉		○		◎		○	○	
現代社会と福祉		○		○		◎	○	
宗教学	○			○		◎		
人権論 II				○	○	◎	○	
真宗と社会				○	○	◎	○	
宗教法規	○			○		◎		
声明作法 I		◎					○	○
声明作法 II		◎					○	○
声明作法 III		◎					○	○
声明作法 IV		◎					○	○
教化学演習 I		○			○			◎
教化学演習 II		○			○			◎
教化学演習 III		○			○			◎
教化学演習 IV		○			○			◎
法話基礎演習 I				○	◎	○		
法話基礎演習 II				○	◎	○		
課題研究 I	○		○	○	◎			
課題研究 II	○		○	○	◎			
卒業論文	○		○	○	◎			

2025年度 表現学科情報デザインコース カリキュラムマップ

1. ウェブデザインや司書に必要な知識を身につけている。(知識)
2. ウェブデザインや司書に必要な技能を身につけ、自らの課題を発見することができる。(技能)
3. 情報を分析、整理し、問題解決に向けた思考ができる。(思考力)
4. 役割を認識し、課題解決に向け、場に適した判断ができる。(判断力)
5. 人間の内にある思考や感情を省察し、ウェブ等を活用し表現することができる。(表現力)
6. 自己を肯定し積極的に表現することができる。(主体性)
7. 表現教育を通して深い人間理解を持ち、人の思いや価値観を受けとめることができる。(多様性)
8. 他者と協働しながら、場を動かすことができる。(協働性)

	1	2	3	4	5	6	7	8
マナー実践 I				◎	○	○		○
マナー実践 II				◎	○	○		○
キャリア実践論 I		○	○	○	◎			
キャリア実践論 II		○	○	○	◎			
キャリア実践 I				○	○	○		◎
キャリア実践 II				○	○	○		◎
ビジネス情報 I		◎	○	○	○			
ビジネス情報 II		◎	○	○	○			
ビジネス情報 III								
日本語表現法 I			○		◎	○		○
日本語表現法 II			○		◎	○		○
筑後の魅力 I					○	○	○	◎
筑後の魅力 II			◎	○	○			○
表現の世界 I			○	○	◎	○		
表現の世界 II			○	○	◎	○		
文章表現学	○	◎			○	○		
日本語概説	◎		○		○	○		
読書と豊かな人間性		○	◎		○		○	
情報ネットワーク演習	○	◎	○	○				
情報資源組織論	◎	○	○	○				
情報文化史	◎	○	○				○	
地域情報特論	◎	○	○				○	
生涯学習概論	○	○					◎	○
図書館情報学概論	◎	○	○	○				
図書館制度・経営論	◎	○		○				○
図書館情報技術論	○	◎	○	○				
図書館サービス概論	◎	○			○	○		
児童サービス論	○	◎			○	○		

	1	2	3	4	5	6	7	8
情報サービス論	◎	○	○	○				
レファレンスサービス演習	○	○		◎		○		
情報資源組織演習 I	○	◎	○	○				
情報資源組織演習 II	○	◎	○	○				
図書館情報資源概論	◎	○		○	○			
絵本論		○	○		◎		○	
プレゼンテーション		○		◎	○	○		
A I・データサイエンス入門	○	◎	○					○
I T 経営論	◎	○	○					○
インターネットリテラシー	◎	○	○					○
グラフィックデザイン I	○	◎			○	○		
グラフィックデザイン II	○	◎			○	○		
グラフィックデザイン III	○	○			◎	○		
グラフィックデザイン IV	○	○			◎	○		
ウェブデザイン I	○	◎	○		○			
ウェブデザイン II	○	○	○		◎			
ウェブディレクション			◎	○	○	○		
ウェブデザイン総合実践				○	○	◎		○
ウェブプロデュース				○		◎	○	○
コンテンツ制作 I				○	○		○	◎
コンテンツ制作 II				○	○		○	◎
プログラミング基礎	○	○	◎	○				
デザイン論				○	○	○	◎	
図書館実習		○					◎	○
基礎演習 I			○	○	○	◎		
基礎演習 II			○	○	○	◎		
卒業研究 I			○	○	○	◎		
卒業研究 II			○	○	○	◎		

2025年度 表現学科演劇表現コース カリキュラムマップ

1. 演劇表現に必要な知識を身につけている。(知識)
2. 演劇表現を身につけ、自らの課題を発見し取り組むことができる。(技能)
3. 演劇の学びを通し、問題解決に向けた思考ができる。(思考力)
4. 役割を認識し、課題解決に向け、場に適した判断ができる。(判断力)
5. 人間の内にある思考や感情を省察し、適切に表現することができる。(表現力)
6. 自己を肯定し積極的に表現することができる。(主体性)
7. 演劇を通して深い人間理解を持ち、人の思いや価値観を受けとめることができる。(多様性)
8. 他者と協働しながら、場を動かすことができる。(協働性)

	1	2	3	4	5	6	7	8
マナー実践 I				◎	○	○		○
マナー実践 II				◎	○	○		○
キャリア実践論 I		○	○	○	◎			
キャリア実践論 II		○	○	○	◎			
キャリア実践 I				○	○	○		◎
キャリア実践 II				○	○	○		◎
日本語表現法 I	○	○	○		◎	○		
日本語表現法 II	○	○	○		◎	○		
表現研究 I	○	◎			○	○		
表現研究 II		○	◎		○	○		
表現研究 III		○	○	◎	○	○		
表現研究 IV		○		○	◎	○		
身体表現研究 A-I		○	○		○	◎		
身体表現研究 A-II		○	○		○	◎		
身体表現研究 A-III		○	○		○	◎		
身体表現研究 A-IV		○	○		○	◎		
身体表現研究 B-I		○	○		○	◎		
身体表現研究 B-II		○	○		○	◎		
身体表現研究 B-III		○	○		○	◎		
身体表現研究 B-IV		○	○		○	◎		
身体表現研究 C-I		◎	○		○	○		
身体表現研究 C-II		◎	○		○	○		
身体表現研究 C-III		◎	○		○	○		
身体表現研究 C-IV		◎	○		○	○		
身体表現研究 D-I		◎	○		○	○		
身体表現研究 D-II		◎	○		○	○		
伝統芸能研究 A-I	○	◎	○		○			
伝統芸能研究 A-II	○	◎	○		○			
音声表現研究 A-I		◎			○	○		○
音声表現研究 A-II		◎			○	○		○
音声表現研究 A-III		◎			○	○		○
音声表現研究 A-IV		◎			○	○		○
音声表現研究 B-I		◎	○		○			○
音声表現研究 B-II		◎	○		○			○
音声表現研究 B-III		◎	○		○			○
音声表現研究 B-IV		◎	○		○			○
歌唱表現法 I		○		○	◎	○		
歌唱表現法 II		○		○	◎	○		
ミュージカル研究 I		○		○	◎	○		
ミュージカル研究 II		○		○	◎	○		
ミュージカル研究 III		○		○	◎	○		
ミュージカル研究 IV		○		○	◎	○		
音楽表現 I		○		○	◎	○		
音楽表現 II		○		○	◎	○		
音楽表現 III		○		○	◎	○		
音楽表現 IV		○		○	◎	○		

	1	2	3	4	5	6	7	8
舞台演習 I	◎	○	○					○
舞台演習 II		○	○	◎				○
舞台技術 I		◎	○	○				○
舞台技術 II		◎	○	○				○
音響基礎 I	◎	○				○		○
音響基礎 II	◎	○				○		○
音響技術 I		◎		○	○			○
音響技術 II		◎		○	○			○
照明基礎 I	◎	○				○		○
照明基礎 II	◎	○				○		○
照明技術 I		◎		○	○			○
照明技術 II		◎		○	○			○
舞台機構演習		○	◎	○				○
表現基礎		○	◎	○				○
舞台表現法 I		○	○	○	◎			
舞台表現法 II		○	○	○	◎			
シアターコミュニケーション論 I	○		○				◎	○
シアターコミュニケーション論 II	○		○				◎	○
表現技法 A-I		○		○	○	◎		
表現技法 A-II		○		○	○	◎		
表現技法 B-I		○		○	○	◎		
表現技法 B-II		○		○	○	◎		
表現技法 C-I		○		○	○	◎		
表現技法 C-II		○		○	○	◎		
表現技法 D-I		○		○	○	◎		
表現技法 D-II		○		○	○	◎		
舞台演習基礎			○	○			◎	○
舞台演習発展			◎	○			○	○
舞台総合					○	◎	○	○
筑後の魅力 I					○	○	○	◎
表現の世界 I			○	○	◎	○		
表現の世界 II			○	○	◎	○		
文章表現学	○	◎			○	○		
読書と豊かな人間性		○	◎		○		○	
絵本論		○	○		◎		○	
A I・データサイエンス入門	○	◎	○				○	
I T経営論	◎	○	○				○	
基礎演習 I				○		○	○	◎
基礎演習 II				○		○	○	◎
卒業研究 I			◎			○	○	○
卒業研究 II				◎		○	○	○

2025年度 幼児教育学科 カリキュラムマップ

1. 保育・幼児教育の本質、目的、支援の対象者理解についての知識を身につけている。(知識)
2. 保育・幼児教育に必要な基礎的技術を習得し、実践につなげることができる。(技能)
 ※こども教育コース…子どもの発育・発達を促す遊びの知識と技能を身につけ、子どもとともに遊びを創造することができる。(知識・技能)
 ※こどもドラマコース…ドラマ教育やダンス等を通して楽しむための知識や技能を身につけ、子どもの主体的な活動をつくることができる。
 ※グローバル保育コース…多様な保育に関する知識や技能を身につけ、国籍や文化の違いを認め一人ひとりの子どもに寄り添うことができる。(知識・技能)
 ※こども心理コース…特別な支援を必要とする子どもと保護者に寄り添うための知識と技能を身につけることができる。(知識・技能)
3. 自己の課題を客観的に見出し、学び続けることができる。(思考力)
4. 社会における保育の課題を知り、問題点を解決することができる。(判断力)
5. 豊かな感性を身につけて表現することができる。(表現力)
6. 個々の関心に基づく得意分野を持ち、保育・幼児教育の実践に活かすことができる。(主体性)
7. 子どもの自由な表現を受けとめることができる。(多様性)
8. 他者と協働する力を持ち、その力を遊びを通して地域社会で活かすことができる。(協働性)

	1	2	3	4	5	6	7	8
子どもと健康	◎	○	○	○				
子どもと人間関係	◎	○	○					○
子どもと環境	◎	○						
子どもと言葉	◎	○	○	○				
子どもと表現	◎	○			○		○	
保育内容の理解と方法Ⅰ	○	◎	○		○			
保育内容の理解と方法Ⅱ			○		◎	○	○	
保育内容の理解と方法Ⅲ					○	◎	○	○
保育内容の理解と方法Ⅳ		○	○		◎		○	
音楽表現技術		◎			○	○	○	
音楽実技Ⅰ		◎	○		○	○		
音楽実技Ⅱ		○	○		◎	○		
音楽実技Ⅲ		○	○		◎	○		
造形表現技術		◎			○		○	○
身体表現技術		◎			○	○	○	
保育者論	◎		○	○		○		
教育原理	◎		○	○				
保育の心理学	◎	○						
子ども家庭支援の心理学	◎	○		○				
子どもの理解と援助	○	◎					○	
教育・保育課程論	◎	○	○					
保育内容総論	○			○			○	◎
保育内容・健康		◎			○	○	○	
保育内容・環境	○	○	○					◎
保育内容・人間関係	○	◎	○					○
保育内容・言葉	○	◎	○				○	
保育内容・表現(音楽)		◎			○	○	○	
保育内容・表現(造形)		◎			○	○	○	
教育方法論	◎		○	○				
子育て支援	○	◎		○				○
子ども理解と教育相談	◎		○	○				
教育・保育実践演習		○	◎	○		○		
教育実習指導Ⅰ	○		○	◎			○	
教育実習指導Ⅱ	○		○	◎				
教育実習Ⅰ	○		○			◎	○	
教育実習Ⅱ	○		○			◎		
乳児保育Ⅰ	◎	○	○	○				
乳児保育Ⅱ	○	◎	○	○				
子どもの保健	◎		○	○				
子どもの健康と安全	○	◎		○				
子どもの食と栄養Ⅰ	○	◎	○	○				
子どもの食と栄養Ⅱ	○	◎	○	○				

	1	2	3	4	5	6	7	8
保育原理	◎		○	○		○		
社会福祉	◎			○				
子ども家庭支援論	◎	○		○				○
子ども家庭福祉	◎			○				
社会的養護Ⅰ	◎	○		○				
社会的養護Ⅱ	○	◎		○				
特別支援の理解	○	◎		○			○	
障害児保育	○	◎		○				○
保育実習Ⅰ(保育所)	◎	○	○					
保育実習Ⅰ(施設)		○	○				◎	○
保育実習Ⅱ			○				◎	○
実習基礎演習	○	○	◎			○		
実習基礎指導	○	○	◎			○		
保育実習指導Ⅰ(保育所)	○		◎	○				
保育実習指導Ⅰ(施設)		○	○	◎				○
保育実習指導Ⅱ		○	○	◎		○		
以下、4コース(こども教育・こどもドラマ・グローバル保育・こども心理)								
こども遊び体験	○		◎		○			
こどもあそびプログラムa		◎					○	○
こどもあそびプログラムb		◎					○	○
ドラマ教育Ⅰ	○		◎				○	
ドラマ教育Ⅱ			○	◎	○			
ドラマ教育演習Ⅰ	○			◎		○		
ドラマ教育演習Ⅱ		◎		○	○			○
ダンス・歌唱表現Ⅰ					◎	○	○	
ダンス・歌唱表現Ⅱ			○		◎			○
保育の多様性の理解Ⅰ	○						◎	○
保育の多様性の理解Ⅱ	○						◎	○
グローバル保育研修Ⅰ	○						○	◎
グローバル保育研修Ⅱ	○						○	◎
こども音楽療育	◎	○					○	
こども音楽療育演習	◎	○					○	
臨床心理学(特講)	○	◎	○					
保育心理演習		◎					○	
保育心理		◎	○		○			
保育人間学	○	◎	○	○				
個別支援実習		◎	○			○		○
個別支援実習指導		◎	○				○	

2025年度 専攻科福祉専攻科 カリキュラムマップ

1. 保育士養成課程での学びを基礎として、介護福祉の基本となる理念と基礎的知識を身につけている。(知識)
2. 根拠に基づく介護を行うための技術を実践することができる。(技能)
3. 高い倫理感を持ち、対象者を一人の生活者として寄り添い考えることができる。(思考力)
4. 介護実践上の課題を創造的に解決することができる。(判断力)
5. 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、地域、社会に貢献することができる。(表現力)
6. 介護福祉士としての専門性を探求する姿勢を持ち続けることができる。(主体性)
7. 地域で暮らす人々の思いを受けとめ、地域の課題を共有することができる。(多様性)
8. コミュニケーションを図り、様々な専門職と協働することができる。(協働性)

	1	2	3	4	5	6	7	8
社会の理解	◎		○			○		○
介護と福祉Ⅰ	◎		○			○	○	
介護と福祉Ⅱ	◎		○		○	○		
介護と福祉Ⅲ			◎		○	○	○	
介護と福祉Ⅳ	◎		○		○	○		
介護の基本Ⅰ	○		○			○		◎
介護の基本Ⅱ	○		○	◎		○		
コミュニケーション	◎	○					○	○
コミュニケーション技術	○	◎					○	○
生活支援技術Ⅰ	○	◎		○				
生活支援技術Ⅱ	○	◎	○	○				
生活支援技術Ⅲ	○	◎	○	○				
生活支援技術Ⅳ	○	◎	○	○				
生活支援技術Ⅴ	○	◎	○	○				
生活支援技術Ⅵ	○	○			○		◎	
生活支援技術Ⅶ	○	◎	○	○				
生活支援技術Ⅷ	○	◎	○	○				
生活支援技術Ⅸ	○	◎	○	○				
生活支援技術Ⅹ	○		◎			○		○
介護過程Ⅰ	○		○	◎		○		
介護過程Ⅱ			◎	○			○	
介護過程Ⅲ			○	◎		○	○	
介護過程Ⅳ			○	○		◎		○
介護過程Ⅴ	○			◎		○	○	
介護総合演習Ⅰ			○		◎		○	○
介護総合演習Ⅱ					○	○	◎	○
介護実習			○		◎	○	○	
発達と老化の理解	◎					○	○	○
認知症の理解Ⅰ	◎		○	○			○	
認知症の理解Ⅱ		○	◎	○			○	
障害の理解	◎		○			○	○	
からだのしくみ	◎	○			○			○
こころのしくみ	◎	○	○					○
医療的ケア		◎	○					

	1	2	3	4	5	6	7	8
人間学A	※基礎科目にて表記							
人間学B	※基礎科目にて表記							
臨床心理学(特講)	※幼児教育学科にて表記							
保育心理演習	※幼児教育学科にて表記							
保育心理	※幼児教育学科にて表記							
保育人間学	※幼児教育学科にて表記							
個別支援実習	※幼児教育学科にて表記							
個別支援実習指導	※幼児教育学科にて表記							
こども音楽療育	※幼児教育学科にて表記							
こども音楽療育演習	※幼児教育学科にて表記							